



ほうなん

令和7年度3月号

令和8年2月27日(金)

杉並区立方南小学校

令和7年度を振り返って

— 学びは学校、育ちは家庭、支えは地域 —

校長 吉岡 光弘

早いもので、今年度も残すところわずかとなりました。保護者・地域の皆様には、この一年、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度、保護者アンケートでは、多くの項目で肯定的な評価が高まりました。特に、地域と連携した教育活動、いじめを許さない学校の雰囲気づくり、人権や多様性に関する学びなどにおいて、大きな向上が見られました。子どもたちが「学校生活を楽しんでいる」という回答も高く、学校が落ち着いた環境の中で教育活動を進められていることを大変嬉しく感じています。

本校ではこの一年、「どのように学ぶか」を大切にしてきました。対話し、考え、友達と学び合う授業を積み重ねてきたことが、子どもたちの安心感や学校満足度の向上につながっていると感じています。

ICTの活用についても、授業や連絡、情報共有など様々な場面で活用を進めてきました。ただ、本校ではICTを「使うこと」自体を目的にはしていません。ICTはあくまで学びを支える一つの手段であり、子どもたちの思考や対話、人との関わりを大切にする学びを土台にしながら、必要な場面で効果的に活用していくことを重視しています。

家庭と学校の連携について

一方で、今年一年の中で強く感じていることがあります。それは、学校と保護者の皆様との関わり方が少し変化してきていることです。

「学校は落ち着いている、安心して任せられる」

そのように感じていただけていることは大変ありがたいことです。しかしその一方で、保護者会や個人面談への参加、PTA活動への関わりなどについて、以前よりも距離が生まれてきていると感じる場面もあります。

教育の出発点は家庭です。

学校だけで子どもを育てることはできません。

子どもは、家庭での関わり、学校での学び、地域での支え、この三つがそろって大きく成長していきます。学校がどれだけ努力しても、家庭と学校がつながっていなければ、子どもの成長は一分なものにはなりません。

保護者会や個人面談は、学校からの一方的な説明の場ではなく、子どもと一緒に育てるための大切な対話の機会です。PTA活動も同様に、学校を支える活動であると同時に、保護者同士がつながり、子どもたちの育ちを共に支える大切な仕組みです。

学校・家庭・地域は、それぞれ役割が異なりますが、どれも欠けても教育は成り立ちません。

来年度に向けて

来年度も、子どもたちが安心して学び、挑戦できる学校づくりを進めてまいります。そして、保護者の皆様とよりよい連携を築きながら、子どもたちの成長を共に支えていきたいと考えています。

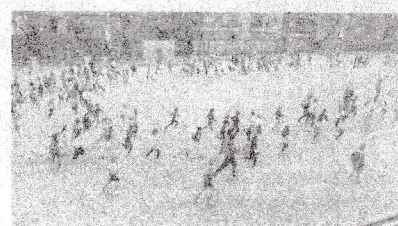
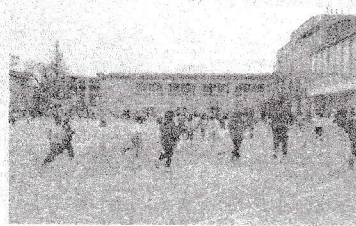
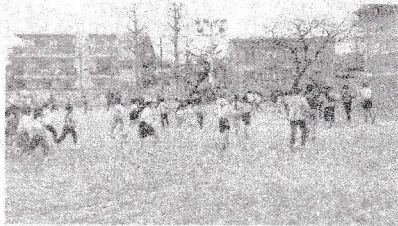
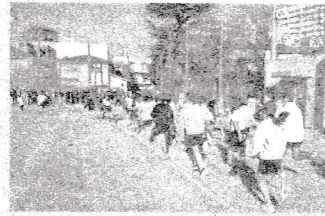
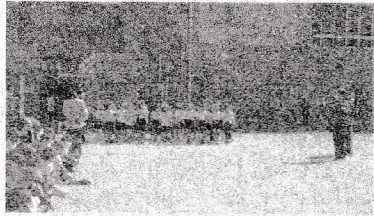
学びは学校、
育ちは家庭、
支えは地域。

これからも三者が手を取り合い、子どもたちの未来を育てていければ幸いです。
引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

かけあしチャレンジ・マラソン大会

かけあしチャレンジの日は、チャイムが鳴ると一斉に校庭へ出て、どの学年も懸命に取り組んでいました。はじめのうちは、ペース配分がうまくいかず、途中で歩いてしまう児童が多かったのですが、慣れてくると、5分間ペースを保ちながら走り切れるようになりました。「今日は〇周も走れたよ!」と誇らしげに胸を張る児童の姿も見られました。

体育の学習やかけあしチャレンジで練習を重ね、自信もつき、本番では精一杯走りきることができました。ご家庭での励ましや、当日のあたたかい声援をありがとうございました。



みんなが過ごしやすい学校

特別支援コーディネーター

これからの学校は一人一人がもっている様々な多様性を認め、個別に対応していく時代といわれています。生活や学習に対して困難をもっている場合は、その特性を明確にし、個々に応じた支援を行っていくことが特別支援教育の基本的な考え方です。本校でも、多くの専門の方々と共に子どもたちの豊かな生活につながる支援を目指しています。

本校の特別支援の取り組みでは、2名のスクールカウンセラーが週1回ずつ子どもたちや保護者の方の相談を受けています。「ほうなん教室」(特別支援教室)では、週に1回、「巡回指導教員」が来校し、ソーシャルスキルトレーニングなどの個別指導や小集団学習を行っています。この他にも、算数科でのつまずきを個別にケアするため、学習支援教員が別室で授業を行っています。

お子様の様子で相談したいことがありましたら、気軽に担任や特別支援コーディネーター、スクールカウンセラーにご相談ください。学習や生活上の困難さがある児童にとって、早期の相談は、よりよい発達を促す上で効果があるといわれています。お子さんに合った支援のやりかたを一緒に見付けていきたいと考えています。